

# 電友会だより

(発行日)

平成二十八年

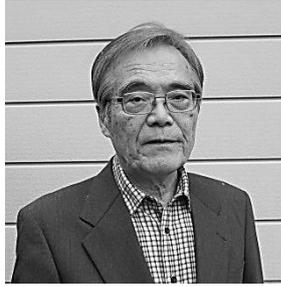
三月一日

(発行責任者)

菊地良三

雪のない会津

会長 菊地 良三 (昭和三十七年卒)



(今年の冬)

今年の冬は雪国会津に雪がない不思議な現象が続いています。毎年冬は雪国の鉛色の空、関東地方の抜けるような青い空と相場が決まっております、この冬晴れがとても羨ましい限りでしたが、今年はそれが一変してしまい嬉しい限りです。スキー場には適当に積雪がありみんながその良さを享受できる理想の冬といえるのではないのでしょうか。しかし、この「電友会だより」が発行される頃には状態が変わっているかも知れませんが・・・

(電友会の皆様)

さて、電友会活動ですが一昨年(平成二十六年)十月に電友会発足二十周年記念の総会を皆様のご協力により盛大に開催する事ができました。年度初めが十月ですから早いものであれから一年数か月が経過しました。「電友会だより」の発行はじめ各種行事に対するご支援・ご協力に感謝申し上げます。今後は、年度計画で示しましたように、春の「史跡探訪」、秋の「施設見学」を主体イベントとして実施すべく計画していきたいと思えます。皆様のご協力と参加を宜しくお願ひする次第です。

東日本大震災から五年が経過し、様々な声が聞かれますが、いまだに行方不明になっておられる方々が多数おられその災害の残酷さを想わずにはおられません。一日も早く収束する事を願うばかりです。

(祝卒業)

電気科三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間電気科で学び、今ここに晴れの卒業式を迎え感無量の事と思えます。蛍の光、窓の雪、友情を深めた「友」との別れ、恩師との別れはつらいものです。今まで築いてきた「絆」と「感謝」を忘れずにこれから無限の可能性に向かって雄々しく翔び立って下さい。我ら同窓生は皆さんを心から応援しています。



♪嶺は秀づる磐梯山～♪ (平成 28 年 2 月 18 日撮影)

《電友会の活動報告》

◇史跡探訪(五月)

「電友会史跡探訪記」

会長 菊地 良三(昭和三十七年卒)

「高僧徳一ゆかりの寺を訪ねる」

電友会では、春の「史跡探訪」と秋の「設備見学」を毎年のメインイベントとして実施している。昨年春のイベントとしてまず「史跡探訪」を青葉若葉が目にも沁み、カッコウが歌う春たけなわの五月二十一日に実施した。

「高僧徳一ゆかりの寺を訪ねる」のテーマで湯川村の「勝常寺」、磐梯町の「慧日寺」を探訪する事にし、合計17名の参加でいつものように大川原史郎さん(昭和三十年E卒)を講師にお願いして実施した。

(高僧徳一の事)

高僧徳一は、平安時代初期奈良東大寺で学び、興福寺では法相宗を修円に学ぶ秀才であった。しかし、奈良仏教の墮落に嫌気がさし、東国に仏教の理想郷を求めた事と、大同元年(八百六年)磐梯山の大爆發で人々はすべてをなくし、路頭に迷う惨状を伝え聞き、何とか人々の苦しみを救い、荒れる山を静めたいとの思いから会津の地に仏教を広めようと東国入りしたといわれている。

その後、大同二年(八百七年)修業の場として慧日寺を建立、さらに大衆に仏教を広めるため、会津盆地のほぼ中央に勝常寺を開山したと伝えられている。

(湯川たから館)

見学コースとしてまず「湯川たから館」を見学。ここは地元湯川村出身の偉人、彫刻家「佐野文夫」として存知「男はつらいよ」シリーズ撮影監督の「高羽哲夫」両氏の遺作品が展示されている。特に寅さんシリーズについては、全作品を保存しており、希望によりいつでも鑑賞可能との事。

(勝常寺)

勝常寺は会津五薬師のうち文字通り会津盆地の中央に位置している薬師堂である。木造、寄棟造、銅板葺と威風堂々の外観を有している。

中に配置してある、メインは薬師如来と脇侍の日光・月光菩薩で端麗な容姿で平成八年に国宝指定になっている。

その他、十一面観音、聖観音、四天王、地藏菩薩、虚空蔵菩薩(いずれも国指定文化財)を拝観し人々の安寧を願うお姿に感動した。



(慧日寺)

慧日寺は平安初期「高僧徳一」によって磐梯山麓の磐梯町に開創された。現在は、「金堂」と「中門」が復元され一般開放されている。屋根、柱、風鐸、天井、連子窓等鮮やかに復元されている。特に柱、窓の鮮やかな朱色は印象的であった。

「徳一廟」、慧日寺の衆徒頭で会津四郡の兵を率いて木曾義仲と戦い討ち死にした「乗丹坊墓」を同時に見学し、新たな知識を吸収する事が出来た。

以上で見学の概要を述べたが、当時の社会不安、健康不安を救済すべく薬師如来を本尊とする仏教の流布を試み、人々の安寧を願った「高僧徳一」の手腕は正に「仏都会津」の基礎を築いたものであることは疑う余地もない。



勝常寺にて

見学が終わり、昼食は慧日寺の近くで「道の駅ばんだい」北隣の「そば道場」で名物の手打ちそばを堪能した。その主人が電友会根本一雄氏（昭和三十六年E卒）と懇意にしていることから、種々の蕎麦談義、蕎麦口上まで披露して頂き、その親切な対応に我々一同大感激のひとつだった。



慧日寺にて

いつものように、詳細な資料提供と明快な説明を頂いた講師の大川原さん、地元勝常寺の案内に「たから館」との橋渡しにご努力頂いた佐野常雄さん（昭和三十年E卒）に心より厚くお礼申し上げます。

◇研修会（八月）

「施設視察・研修会」を開催

顧問 棚木 武夫（昭和三十六年卒）

会津若松ウインドファーム・風力発電設備の見学会

今回は、東京都品川区に本社を置くエコ・パワー株式会社よって背炙り山に設置された風力発電設備の見学会を会員十九名の参加で実施されました。

大気温暖化の一因である炭酸ガス排出のない風力を動力とした最大出力一万六千kWの風力発電設備を研修することになりました。さて、風力発電は燃焼ガスを排出しないクリーンな発電方式の反面、

大きな欠点を自覚しておかなければならない。それ等の一つは風力即ち風速の変化が発電出力に非常に敏感で変動が大きくしかも予知不可能な値で影響することである。

風力エネルギーを計算する際に大気の比重を考えた場合、私の記憶では約六百五十立米で一トンとすれば水の比重一に対し六百五十分の一と考えることが出来る。大気が風車を一秒間に通過する体積を計算すれば動力源としての通過する大気の運動エネルギーに効率を加味すれば発電出力が計算可能である。

風の運動エネルギーから計算は次の枠内の様に計算されます。

風力発電出力Pの各要素を下記のように仮定する

- P ; 発電出力 [Kw]
- $\rho$  ; 大気質量 [ton/m<sup>3</sup>]
- A ; 受風面積 [m<sup>2</sup>] ・ ・ 風車羽根の描く面積
- Q ; 通過風量の体積 [m<sup>3</sup>/s]
- V ; 風速 [m/s]
- $\eta$  ; 効率 [0.0・・]
- 但し、 $Q = AV$  [m<sup>3</sup>/s]

動体である風速の運動エネルギーP [Kw] は

$$P = \frac{1}{2} Q \rho V^2 \eta$$

$$= \frac{1}{2} A V \rho V^2 \eta$$

$$= \frac{1}{2} A V^3 \rho \eta$$

で表される。

従って、発電出力Pは風速V [m/s] の3乗に比例して変化する。

この様に発電出力が風速の三乗に影響すると云うことは即ち、風速が半分になれば二分の一の三乗で八分の一となつて効率低下を加味すれば約十分の一以下の発電力に急変するなどが欠点である。

但し、受入れる既存の電力会社はこれ等の再生可能発電は発電力を予知できない変動の大きな電源である限り、送配電のある程度の安定した電圧や周波数を保つには自社の即応性の高いガス須力発電方式であつても自ずと限界があることを社会に示すことが条件と考えられる。また、供給責任の在り方も同様に電力自由化の課題である。



同窓生 S47 年卒の小柴氏ほかの方々から説明を受けました



会津若松 Akisai やさい工場より心をこめて。

栽培技術×半導体製造技術×ICTの力

富士通会津若松工場の低カリウムレタス栽培設備視察  
 ハイテク企業に相応しくない低カリウムレタス栽培を視察しました。腎臓疾患の腎臓透析患者へ提供する低カリウム化のレタス栽培技術の確立によって、疾患者が摂取するカリウムによる治療の弊害を避けるため、土壌や肥料農薬などによる植物のカリウム含有を極力避けた栽培設備を実地見学しました。以上

事業地点	会津若松市 背あぶり山周辺
発電容量	16,000kW (2,000kW風車8基)
予測発電量	約4,100万kWh (約9,850世帯分の電気使用量)
概算事業費	約50億円
事業主体	エコ・パワー株式会社



平成 27 年 8 月 25 日・肌寒い夏の日でした

◇定例総会(十月)

第二十一回「定例総会・懇親会」を開催

事務局長 白井 達夫 (昭和四十三年卒)

第二十一回の定例総会および懇親会は、平成二十七年(二〇二五年)十月十六日(金)に、会津若松市南千石町の「ホテルいずみや」で、会員二十九名とご来賓の方々七名を加えた三十六名で開催されました。

本総会の開催日は、例年十月の第三土曜日に開催される「会工同窓会総会」の開催日と連動し、遠方の会員の方々が「電友会総会」と「会工同窓会総会」にセットで参加し易いように設定しております。

総会は、菊地進さん(昭和四十七年卒・会津若松)の司会進行により物故者に対する黙祷と校歌斉唱の後、星陽一さん(昭和四十年卒・東京都)を議長に選出し、平成二十六年(期間：平成二十六年十月一日～平成二十七年九月三十日)の活動経過報告、会計・会計監査報告ならびに平成二十七年年度の事業計画(案)・予算(案)の各議案が満場一致の拍手で承認可決されました。

議事終了後には、会工高・電気科の井上浩一主任より、卒業生の進路状況など後輩の近況報告を受け、後輩の活躍に全員の大きな拍手でエールを送りました。

総会終了後の記念講演として、会津若松市健康増進課 主任技査岸竜子氏を講師にお招きし「健康のための栄養バランス」と題した講義を拝聴しました。会員の年代からして明日は我が身との思いから？多くの質問で賑わった講演会でした。

恒例の懇親会は、中丸茂由さん(昭和四十年卒・会津若松市)の司会で開会。ご来賓を代表して若狭春生同窓会長より祝辞を頂戴した後、渡部藤雄さん(昭和三十一年卒・倉敷市)の発声による乾杯で祝宴に入りました。佐野常雄さん(昭和三十一年卒・湯川村)の大黒舞はじめ根本一雄さん(昭和三十六年卒・会津美里町)の紹介による日本舞踊の女性三名、更に東山温泉の綺麗どころが勢ぞろいし、例年にも増して大いに盛り上がりました。懇親会の開催にあたり多額のご芳志を賜りました菅家忠平先輩(昭和二十六年卒・相模原市)に紙面を借りて厚く御礼申し上げます。有難うございました。

お開きは、恒例により応援歌A調、頑張れ応援歌を全員で声高らかに歌い上げ、懐かしい青春の熱い血を呼び起こしました。



第21回 会工電友会総会

(事務局からのお知らせ)

① 今回の席上で、会津若松選挙区から福島県議会議員選挙に出馬予定の渡部優生さん(昭和五十五年機械科卒)の紹介があり激励しました。結果、十一月の福島県議会議員選挙において当該選挙区から学校創立初の県議員がめでたく誕生しました。

② 次回の第二十二回会工電友会定例総会は、平成二十八年十月十四日(金)ホテルニューパレス(市内中町)で開催します。また、本部同窓会総会は翌十五日(土)に開催されますので合わせてご参加ください。



第21回 会工電友会総会

《電友会仲間の活動状況》

熊の子会 in 会津 2015

副会長 佐野 常雄 (昭和31年)

私たちの同級会、昨年同様とても楽しかったので報告します。

「熊の子会」の名称は在学中時の大沢熊義先生の一字(熊)を頂き、名付けて、毎年地域当番の会場で名所旧跡や城の見学をすることで開催しています。今年は、地元会津の当番(佐野・西村・鈴木(安))で、本校の同窓会総会(10/17(土)・いづみや)・会工電友会総会(10/16(金)・いづみや)の前日10/15(木)にして、実家への墓参りを計画に入れ、気軽な気持ちで参加できる同級会といたしました。通知返送の欠席の内容は、他の行事との競合・病氣加療中・腰や膝痛・介護等で29名、今回の参加者は12名に同伴者五組の17名で、東山温泉・ホテル東鳳にて、西村さん司会進行し、物故者(11名)へ黙禱し、近況報告では、「私の健康法」の発表とのど自慢・カラオケ大会で、二時間終え、二次会も又々盛り上がりました。

次の日10/16(金)「会津ころり三観音」参りです。

- ① 中田観音・弘安寺 (会津美里町新鶴中田)
  - ② 立木観音(千手観音)・恵隆寺 (会津坂下町塔寺)
  - ③ 鳥追観音・如法寺 (西会津町野沢)
- 参拝すれば、死ぬ時苦しまずに「ころり」と逝けると言われていることから、多勢の参拝団体客と一緒に参拝して参りました。

中田観音

大沼郡新鶴村大字米田字堂ノ後甲147  
TEL (0242) 78-2131



立木観音

河沼郡会津坂下町大字塔寺字松原2944  
TEL (0242) 83-3171



鳥追観音

耶麻郡西会津町野沢字如法寺乙3533  
TEL (0241) 45-2061



会津ころり三観音霊場のめぐり

会津ころり三観音霊場のめぐり

会津ころり三観音霊場のめぐり



熊の子会 in 会津／東山温泉 御宿東鳳



「にしんの山椒漬」



「こづゆ」

正午に終了し、昼食は、七日町駅前のお餅「渋川問屋」にて、会津三昧料理で舌鼓を打ち、今度、又食べてみる事の約束をして別れました。電友会には12名加入して頂きました。その晩、電友会の総会は、会津地域より3名と東京の鈴木敬助さんと元同窓会関西支部長・渡部藤雄さんが参加され楽しい宴会となりました。

岡山市・倉敷市には、平成21年にもお伺いしておりますが、同級生で沖繩の古川喜美男社長の次に遠い地におられるので、ご苦労さまですがお世話さまになりました。

### 《会工高 電気科からの寄稿》

「電気工事士資格試験から思うこと」

電気科主任 井上浩一

本校では、平成23年度入学生徒より、第2種電気工事士資格試験に全員受験を課し、5年目となりました。学科目標は卒業時、卒業生全員合格であります。

生徒は入学前3月のオリエンテーション時に、第2種電気工事士資格の説明を受け、学科の方針のもとに受験申込を行います。生徒からすると、意味も分からず強制的に申込をされる形かも知れません。

今年、2年生と3年生(卒業生)に第2種電気工事士を、強制的に受験することへのアンケートをとりました。結果は、強制受験に賛成78%、希望受験に19%、反対に3%でした。過去3年の卒業時の本試験合格率は、95%、97%です。強制受験78%+希望受験19%＝合格率97%となります。結果として出てくる数値は、過程となる生徒の取り組みに準じた値になるものと感じざるに負えません。賛成が大多数であることも安心しました。

日本の経済に目を向けますと、今年度より電力自由化がはじまります。その事により、多くの企業が製品である電気に従事する人材を確保しようとする動きが加速すると思われれます。工業高校電気科の生徒には、追い風となる経済の風が吹いています。

在校生も含めて、電気科の生徒は、社会インフラを支える人材の卵と言えるでしょう。

社会の期待に応える人材育成に力を注いでいく所存です。

平成27年度・在校生の電気工事士取得結果は以下になりました。

上級資格である第1種電気工事士は、昨年以上の合格者を輩出することができました。3年生は、昨年度の不合格者4名が再受験し合格しました。3年電気科で、13名が第1種電気工事士の合格証を手にして卒業することになります。合格した生徒諸君、本当によくがんばりました。

平成 27 年度・在校生の電気工事士取得結果は以下のようになりました。

入学年度 H27 年度学年	H27 1 年	H26 2 年	H25 3 年
第 2 種電気工事士合格者数	33 名 (88.5%)	38 名 (95.0%)	38 名 (94.8%)
第 1 種電気工事士合格者数		3 名	13 名

(%) は、在籍数に対する合格者の割合を示します。

3 年生の進路も、昨年同様、多くの生徒が希望の進路に進むことができました。本校の伝統と卒業生の活躍が、後押しした結果であると考えています。

在校生諸君、先輩方の結果・行動から、自分のすべき事を考えてください。

卒業生のみなさん、会津工業高校電気科はどうでしたか。学生の本分は勉強ですが、大人の社会も、実は勉強から離れることはできません。学校のように共通の教材が与えられることはありません。自ら勉強することで多くの道が開かれます。ものづくりに関わる卒業生は、学生の時以上に勉強することが多くなるでしょう。もしかししたら、勉強したいと思うことがあるかも知れませんが、まずは、自分が選んだ職業の知識をしっかりと身につけること、そして、目の前にある業務に真摯に取り組むことです。きつと、有用な人材となるはずですよ。君たちの未来は大きく明るく照らされています。

電友会の皆様、本科電気科は、電気業界を支える人材育成を念頭に取り組んでおります。今後ともご指導御意見を頂ければ幸いです。教職員員の励みになります。今後ともよろしくお願致します。



卒業



「電気科で学んで」

三年電気科担任 滝沢 全

現三年生、もうすぐ卒業です。私は、理科の教員で工業高校は初めての勤務です。三年前電気科一年の担任となりました。電気科は、入試では他の科に比べ人気がないようで、倍率も低い傾向があるみたいです。この学年も二期入試では定員割れをしてみました。しかし、入学した生徒の意識は高く、電気科の先生方の熱意ある指導のもと資格取得等にすばらしい結果を残しました。入学後すぐに全員参加の放課後補習を受け、第二種電気工事士の勉強をしました。部活動は補習が終わってからの参加です。入学してすぐ強制的に電気工事士の勉強をしていただいたことで、高校生としての自覚、資格取得に対する意欲が他の科に比べて高くなったような気がします。男子 39 名、女子 1 名。元気な生徒が多く、授業中に騒がしくなったり、廊下で奇声を発したりして先生方には多大な迷惑をおかけしましたが、なぜか授業担当者からは好かれていたようです。部活や勉強も頑張り、純朴で幼稚な生徒達も三年間でずいぶん成長しました。三年生の最後の LHR では、下級生に自分の進路体験を話し、さまざまなアドバイスをするなど立派な先輩になりました。もう少しで会工も卒業です。会工電気科の卒業生として同窓諸先輩方に恥ずかしくないようにこれからも頑張つてほしいと思います。

今年の求人状況は好調で多くの会社から求人をいただきました。電気科は特に求人数が多く、生徒達にとっては幸運でした。しかし、県外の大手企業はやはり甘くはなく何人かの生徒は不合格になってしまいました。それでもめげずに次の会社挑戦し、見事に全員内定を勝ち取りました。ほかには公務員に合格した者、大学や専門学校にすすむ者、それぞれ新しい道を見つけ、会工を旅立ちます。同窓の新しい仲間として応援してやっていただければと思います。

## 「電気科での三年間」

電気科三年 芳賀 寛太

三年前、緊張と少しの期待の中この会津工業高等学校に入学してきました。大きめの制服を身にまとい、担任の滝沢全先生に呼名して頂き、会津工業高校電気科での高校生活が始まりました。

一年生の時、先輩方の雰囲気と広大な校舎に戸惑いを隠せない時もありました。しかし、科の対面式で優しい先輩方に歓迎され、少しずつ慣れていきました。学習においては、専門において、不安な部分が多々ありましたが、先生方の粘り強く、熱心なご指導のもと、知識を積み重ねることができました。

二年生の時には、修学旅行があり、日本の文化である京都・奈良・大阪に訪れました。このクラスで同じ屋根の下、一夜を共に過ごすことでより一層に絆が深まり、一体感の強いクラスなっていました。

三年生の時には、三年に一度の文化祭がありました。一年生から専門科目を学び、実習をしてきたことを一般の方々に見てもらおうと思ひ、課題研究に力を入れました。みんなで協力しながら、時に言い合いになることもありましたが、しかし、今思えばとてもいい思い出だと思います。

これから私たち38名は社会人となります。この会津工業高等学校でたくさんのことを学びました。また、電気科で多くの知識と高い技術を身につけることができ、なにより仲間との時間が私たちにとって一番の財産です。今まで学んだことを生かし、日本を支える工業人として頑張っていけます。クラスメイト、先生方、家族の皆さん大変お世話になりました。

# E

ELECTRICIT

## 「二年間の高校生活を振り返って」

電気科二年 上杉 風雅

今のクラスの四十名は入学試験で合格して選ばれた四十名です。彼らは会津工業高校電気科に入学するためにとっても勉強に励んだことでしょう。

そして、入学してすぐ第二種電気工事士の資格習得に向けて勉強が始まりました。入学当時の僕達は、電気についての関心や意欲があまりない生徒が多くとても難しい計算に頭を悩まされていました。

しかし先生方のわかりやすい授業と過去問の反復練習、放課後の部活を休んでの補習。たまに七時まで残されて鑑別を覚えることもありました。最初は点数が思うように取れないといていた僕達ですがテスト間際には合格点の上をとっている状況でした。

無事に筆記試験が終了し合格発表がされました。結果は何とクラスの70%が合格していました。合格発表終了後すぐに実技試験の勉強に取り組みました。筆記試験で必死に覚えた鑑別の道具を使つての作業僕達には初めてが多く絵で見た道具と実物では全然違いました。計十三問の候補問題を何周もして万全の状態を受けた実技試験。結果は90%が合格しました。初めての国家試験だったので嬉しかったです。

一年生の時の行事はとにかくすべてが初めてでした。球技大会、競歩大会、体育祭、ミニ文化祭二、三年生の迫力に押されてなるようになれといった感じでした行事で印象に残っているのは体育祭です。三年生が主体となって進めた応援練習、ラブマシーンとあやまんジャパンとスパイダーマンを踊りましたあの時の三年生はとも頼りになつてかっこよかったです。三年生のおかげで電気科が一体となり応援練習では優勝できました。

二年生に進級して大きな行事が二つありました。一つ目は修学旅行です。一日目、二日目と京都に行き金閣寺、清水寺、班別自主研修に行きました。

金閣寺では、とてもきれいな景色で普通のお寺とはまた違った美しさがありました。清水寺ではよくテレビで見る風景が広がっており、

生で見れてとてもうれしかったです。

班別自主研修では、京都の町を歩いて都会の一面と歴史的な一面を両方楽しめました。歩いてみるとまた違った京都が見れて面白かったです。また各自が会工生としての自覚を持ち行動しました。

三日目、四日目は薬師寺、USJ、大阪城に行ってきました薬師寺ではお坊さんの話を聞いてきて面白いながらも内容はとてもためになる話でした。USJではいろいろなアトラクションがあり中でもハリポッターの迫力は満点でした。バタービールをみんな飲みましたがとても不味かったです。日本の最新の技術を取り入れていたのでとても関心を持ってました。

大阪城では大阪の歴史を学びました。とても大きなお城なので上るだけでも足が疲れました。会津と同じように歴史が深い街だったので親近感があったと同時にとても関心がわきました。

文化祭では映画と喫茶店を組み合わせて映画喫茶をやりました映画をキャスト、台本と自分たちで考え撮影、編集し 喫茶店のほうは内装、外観などとても手の込んだ作りでした。全員で一つのものを作ったのでこれまで以上に団結力が上がったと思います。

あと数ヶ月で最高学年になるので三年としての自覚を持ち全員で希望の進路をかなえたいです。

|||||



### 《会員からの特別寄稿》

#### 「議員生活を終えて」

会津若松市 近藤 信行(昭和四十年卒)

「えっ、俺に市会議員に立候補してくれだって!」。正直驚いた。長年勤めてきた菓子材料卸の零細企業を退職し、「これからは女房と細々ながらも楽しく暮らそう」などとさまざまな思案をしていた矢先の出来事だった。理由は立候補予定者が健康を害し出馬が難しいとのことだった。それまではあまりにも日常の生活が忙しく、市政のことなど考える余裕もなかった。議員に対する見方はごく普通の人が考えてい

るように、「議員なんて誰でもできる」といった増上慢の気持ちがないでもなかった。そのような浅はかな考えから安易に受けてしまい、今から思えば汗顔のいたりであり、「無鉄砲だったな」と深く反省している始末である。

しかしながら、男がひとたび戦いに挑むからには必ず勝たなければならぬ。恥も外聞もない。それまで人にもあまり頭を下げるような人生から、「あかべこ」のように誰にでも頭を下げて歩く人生に一変した。今でもその習性は辛か不幸か抜けないで残っている。

同窓会を始め熱烈な支持者の支援のお蔭で見事に当選を果たし、3期12年市議会議員という貴重な経験をさせて頂いたことに心から感謝を申し上げたい。

若気の至りから意気揚々と議会に乗り込む。しかしながら役人の耳慣れない行政の専門用語に戸惑う。慌てふためいて、それまであまり触ったこともない地方自治法や六法全書をおもむろに開く。地方自治の本旨や議員の役割を知り、責任の重大さを痛感する。それまでは拙い人生経験がある程度は世間のことを知っているつもりでいた、が何も知らなかったことを痛切に思い知らされた。それからは深く反省し、学生時代よりも勉強した。

議員活動は概ね議会活動と個人活動の二つに分けられるが、様々な活動の思い出として心に残ることは、平成15年当時の悪化した市の財政状況改善を図るための方策として、総枠配分方式の予算組みを提言した。それを当局側で導入し10年ほど掛かって、最近ようやく財政的な余裕ができたことは感慨もひとしおである。それと高齢化社会の備えのひとつとして、市の将来的な墓地不足を見込み、大塚山墓地公園に永年合葬室を設置したことや、乳幼児、老人、女性への健康増進を図る各種予防接種を拡大推進したことなども広く市民に感謝されている。その他、市民相談の中で道路の標識設置や舗装、介護関係や生活保護、市営団地などに関する様々な問題解決で奔走した日々が思い出されるが、我が人生の中でも充実した3期12年間であった。

今後はこれらの貴重な経験を地域の人々の為に役立てて行きたい。

(事務局より)市議会議員として御多忙の中、電友会の会計を担当いただき感謝いたします。これからも宜しくお願いいたします。

「会工電友会」役員  
(第二十回定例総会で承認/任期…平成二十六年十月～二十八年九月)

役職名	氏名	卒年	備考
会長	菊地 良三	S37	新任(前副会長)
副会長	佐野 常雄	S31	留任
	渡部 昭寿	S34	留任
	成田 良	S35	新任(前監事)
監事	栗城 隆彦	S36	留任
	長谷川 与一	S40	新任(前理事)
会計	近藤 信行	S40	留任
事務局長	白井 達夫	S43	新任(前庶務)
庶務理事	鹿目 忠明	S40	新任(前理事)
	星 行雄	S30	留任
	大越 一郎	S35	新任
	中丸 茂由	S37	新任
	藤田 晴史	S40	留任
	菊地 進	S47	新任
	顧問	栢森 幸雄	S27
手代木 徳夫		S28	留任
山口 健		S29	留任
荒明 正義		S30	留任
西村 一夫		S31	留任
根本 一雄		S36	留任
棚木 武夫		S36	新任(前会長)

「会工電友会」卒業年別会員数(平成二十八年一月末現在)

卒年	会員	卒年	会員
S 26	6	S 40	6
S 27	9	S 41	1
S 28	13	S 42	2
S 29	8	S 43	9
S 30	9	S 44	1
S 31	15	S 45	0
S 32	1	S 46	0
S 33	3	S 47	2
S 34	9	S 48	0
S 35	7	S 49	0
S 36	11	S 50	1
S 37	5		
S 38	0		
S 39	3		

会員数  
121名

会員の増加を図りましょう！  
会工電気科卒の知人・友人をお誘いのうえ、事務局までご一報をお待ちしております。  
事務局：白井達夫  
携帯 090-3753-5718

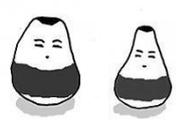
「会工同窓会」の役員に就いている電友会会員の紹介  
(平成二十七年十月現在・同窓会報掲載順)

会工同窓会 役職名	氏名 (敬称略)	卒年
筆頭副会長	藤田 晴史	S40
副会長	田中 健一	S42
副幹事長	浅田 誠	S43
幹事	渡部 昭寿	S34
〃	近藤 信行	S40
〃	野中 寿勝	S50
〃	長谷川 与一	S40
〃	佐野 常雄	S31
〃	白井 達夫	S43
監事	西村 一夫	S31
参与	大川原 昌之	S28
〃	菊地 良三	S37
〃	棚木 武夫	S36

同窓会役員の皆様の  
ご活躍をお祈りいたします。

【編集後記】

今回も無事「電友会だより」を発行することが出来ました。寄稿く  
ださいました皆様へ感謝申し上げます。電気科の先生方や生徒の皆さ  
んの熱き想い、諸先輩のご活躍の様子を伺う事ができ、嬉しく思っ  
ております。  
昨年秋、三年に一度開催される「会工祭」を見学しました。約半世  
紀前の在学時とは隔世の感でしたが、熱心に説明してくれる在校生の  
姿に頼もしさとともに未来の光明を感じました。  
会工電友会会員の皆様、故郷会津、母校会工、そして本会運営に対  
し、今後とも温かいご支援をお願い申し上げます。  
(編集委員 白井達夫 昭和四十三年卒)



\*編集委員

- 根本 一雄(昭和三十六年卒)
- 棚木 武夫(昭和三十六年卒)
- 菊地 良三(昭和三十七年卒)
- 近藤 信行(昭和四十年卒)
- 鹿目 忠明(昭和四十年卒)